



“ガス窯作りのプロ集団・大築窯炉工業”の

# 月刊 窯ナビ

必ず良いことがある人のために送る！

DAICHIKUのお得意様向けニュースレター

【発行日】2009年12月31日 【発行人】(株)大築窯炉工業 谷口浩司

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2192-5 TEL0296-72-1444【ホームページ】<http://www.daichiku.jp/>

ウラ面も情報満載

## ■鍛冶浦製陶所四代目・鍛冶浦豊氏 ■益子焼を全国に広めたい！



人気の洗面鉢と弊社製3.5㎡ガス窯

【陶歴】  
1962年 益子町に生まれる  
1982年 栃木県窯業指導所 伝習生  
1984年 愛知県立瀬戸窯業高校 陶芸専攻科卒業  
1985年 鍛冶浦製陶所四代目として従事  
2003年 強化土による給食食器開発 (益子町内、小中学校で使用)  
2004年 第21回伝統的工芸特別企画展 入賞(マイナスイオン焼酎サーバー)  
〒321-4217  
栃木県芳賀郡益子町益子3260  
(有)鍛冶浦製陶所  
鍛冶浦豊  
TEL0285(72)2530  
FAX0285(72)3260  
E-mail: kajjura@cream.piaia.or.jp

- 谷 口: 幼い頃はどんなお子さんでしたか？
  - 鍛冶浦: 活発な子供でした。勉強するより外で遊ぶほうが好きでした。
  - 谷 口: いつ現職につきましたか？
  - 鍛冶浦: 愛知県立瀬戸窯業高校陶芸専攻科を卒業後、22歳で家業に就きました。やきもの作りの一家ですから、自然と家業を継ぐ状況になっていました。
  - 谷 口: お仕事で何か心に残る出来事をあげるとすと、どんな事がありますか？
  - 鍛冶浦: 代々卸し売りだけでやってきましたが、百貨店で自分の窯の製品が目の前で売れたときは嬉しく思いました。
  - 谷 口: それをきっかけに以前と比べて何か変わったことはありますか？
  - 鍛冶浦: 販売に携わり、商品開発にも非常に興味を持つようになりました。カタログギフトも創めました。クレーム処理もお客様と直接やる事の大切さを実感しました。そんなお客様からお礼状まで頂きました。
  - 谷 口: お客様からどのような事を言われると嬉しいですか？
  - 鍛冶浦: 製品を褒められたり、新作を楽しみにしていただくと、とても嬉しいです。
  - 谷 口: どんな時にやりがいを感じますか？
  - 鍛冶浦: 2003年に益子焼での給食用食器開発を行いました。子供たちが使い安いことが必要でしたが、完成した時は達成感がありました。益子焼を通して社会貢献ができたがします。
  - 谷 口: 最近、一番嬉しかった事は何ですか？
  - 鍛冶浦: 子供が野球の県大会で優勝した事です。私は地域のボランティア活動で子ども達に野球の指導もしています。
  - 谷 口: あなたのお仕事ぶりをご家族はどうおしゃっていますか？
  - 鍛冶浦: 忙しくしているので、体を壊さないようにと気遣ってくれています。今は何も言いませんが、両親はいろいろと心配しているようです。
  - 谷 口: 今の目標、来年やりたいことは？
  - 鍛冶浦: この仕事を長く続けるための工夫をしていきたいです。
  - 谷 口: 益子焼の良さはどこだと思えますか？
  - 鍛冶浦: 作品に温かみと手づくり感があるところだと思います。全国的に益子焼がどういふものなのか、あまり知られていない感じがします。これから益子焼が全国にもっと知られてほしいですね。
  - 谷 口: 大築窯炉のガス窯を選んだ理由は何ですか？
  - 鍛冶浦: 近くなので修理も早く来てくれるし、仕事も早くしてくれるので。大窯は安定した品物を作らなければならないので、温度差がなくロスが少ないガス窯なので良いと思います。
  - 谷 口: 大築窯炉のイメージは？
  - 鍛冶浦: 窯の修理でも何でも気軽に頼めるところがいいですね。
- (敬称は略させていただきます)



歴史を感じさせる作業場の外観

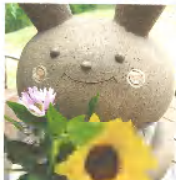


うれしい！  
楽しい！  
大好き！  
ダイチク！  
メッセージ！

■ 弟の裕さんと話をしていた時、「これ飲みなよっ」と飲み物を手渡してくれたのが豊さんだった。人に対してチョットした気遣いができて不快感を与えない、そんな空気の豊さんである。例えば、クレーム処理は誰でもいやだろう。ところがこれを解決させて逆に礼状まで頂く。プラス思考じゃなくてはできない。アイデアを形にしようという勉強好きでもある。先輩の話を素直に聞いて実行に移す性格も見逃せない。豊さんには成功する人柄のすべてがある気がする。

## ■ユーザーさんの個展情報■

**パンちゃん通信** 左



森の工房 どんぐり 3周年記念！！  
 来月8月6日で 森の上野どんぐりは 3周年を迎えます。  
 皆様のご愛顧に支えられ、3周年を迎える事ができました。  
 ありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。  
 日頃のご愛顧に 感謝の気持ちを込めて、特典を  
 に用意いたしました。是非 ご来店でご覧のびらしてください。  
 この日を大切に思い出してお祈りさせていただきます！！  
 特典① 絵付け体験券 20%OFF  
 (ハガキ1枚で3名様まで 送料は別袋別とさせていただきます)  
 特典② 森の工房 オリジナルグッズが当たる「大抽選会」  
 (ハガキ1枚で1回のみ参加いただけます)  
 特典有効期間：2009年8月1日(土)～8月30日(日)

**十六夜まつり**  
 8/13(土)～15(日)14(日)  
 福島県の新潟県に十六夜まつりがあるって  
 オリジナルの器がいろいろあるよ



森の工房 どんぐり 3周年記念！！  
 来月8月6日で 森の上野どんぐりは 3周年を迎えます。  
 皆様のご愛顧に支えられ、3周年を迎える事ができました。  
 ありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。  
 日頃のご愛顧に 感謝の気持ちを込めて、特典を  
 に用意いたしました。是非 ご来店でご覧のびらしてください。  
 この日を大切に思い出してお祈りさせていただきます！！  
 特典① 絵付け体験券 20%OFF  
 (ハガキ1枚で3名様まで 送料は別袋別とさせていただきます)  
 特典② 森の工房 オリジナルグッズが当たる「大抽選会」  
 (ハガキ1枚で1回のみ参加いただけます)  
 特典有効期間：2009年8月1日(土)～8月30日(日)



**パンちゃん通信・左**  
 森の工房・どんぐり様から弊社に定期的に送られてくる葉書です。8月に3周年を迎え、お得な陶芸体験ができる情報です。

**十六夜祭り・中**  
 笠間市にある「陶の小径(こみち)」出主催する“十六夜祭り”のDM。やきものでできた灯りが夏の夜道を照らし出します。

**庄司人志作陶展・右**  
 8月20日～25日・中合福島店一番館7F  
 福島二本松に窯を築いてから福島で初めての個展です。使い心地や色合いにこだわりの作りまいました。

## ■陶芸羅針盤■還元焼成時の空気取り入れ■

### 【還元炎焼成】

発熱量の大きな燃料に含まれる炭素数が多いとき、これを完全に燃やすためには十分な空気が必要です。炎に対して空気の供給量が少ない場合は還元炎になります。還元炎からは一酸化炭素と遊離炭素が生成されます。一酸化炭素は酸素に飢えている状態にあるので、この酸素を他の物質から得ようとしています。窯の中でこの状態にあることを還元炎焼成といいます。

### 【還元焼成時の空気取り入れ】

950～970℃に窯の温度がなったら還元炎焼成に入ります。ガス窯を還元雰囲気にする方法は、まずバーナーから供給される一次空気を少なくし、次にドラフトやダンパーを使って二次空気を少なくしてゆきます。予混炎をつくることのできるガスバーナー(ガス窯に使用されている)では、一次空気を絞ると安定した炎の内炎部分が黄橙色に変化してゆきます。さらに絞ってゆくと炎先まで黄橙色に変化します。この変化は窯焚き中は見ることができないので、焼く前に扉を開けて確認しておきます。その時は火足の約半分から1/3程度が黄橙色になるように調整し、バーナーに印をしておきます。この状態では内炎から炎先が還元炎といえます。次に炎全体を還元炎にするには、ダンパーとドラフトを使用します。これらを使ってバーナーの火炎に供給される二次空気を少なく調整すると、炎は外炎部分が還元炎に変化してゆきます。つまり、バーナーの一次空気は内炎、ダンパーとドラフトは外炎をコントロールするもの、ということが出来ます。

## ■なるほど！釉陶里炉・学習帳■耐火断熱レンガの規格と用語解説(1)A類

### 【耐火断熱レンガ】

ガス窯や灯油窯に使用される耐火断熱レンガの種類には、JIS規格でA類、B類、C類と各メーカーが出している独自ブランド品があります。例えば、イソライト工業の「LBK」日の丸窯業の「RA」「RB」丸越工業の「GM」などです。それぞれ後ろに数字がついて使用温度を表しています(LBK28、RA15、GM15など)。今回から3回、JIS規格A～C類を説明いたします。

【A類耐火断熱レンガ】は一般に軽量であること即ち、断熱性に主眼をおいてつくられています。このため強度の点は多少小さくなっています。

### 【用途】

1. 低温炉、乾燥炉の内張りおよび各種窯炉の裏張り用(B1～B2)
2. A4～A7は各種窯炉の内張り、裏張り用

### 【A類耐火断熱レンガ】

品 種		A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
規 格	JIS分類表示	900-0.50-0.23	1000-0.50-0.24	1100-0.55-0.32	1200-0.55-0.32	1300-0.60-0.34	1400-0.70-0.36	1500-0.75-0.38
	残存線変化率が±2%を超えない温度(℃)	900	1000	1100	1200	1300	1400	1500
	かさ比重	0.50≧	0.50≧	0.55≧	0.55≧	0.60≧	0.70≧	0.75≧
	熱伝導率	0.23≧	0.24≧	0.32≧	0.32≧	0.34≧	0.36≧	0.38≧

### 【再加熱膨張/収縮または残存線膨張/収縮】

繰り返し加熱した時に生じる膨張または収縮のこと。

耐火物が定められた温度で定められた時間加熱したのち、あるいは繰り返し加熱(使用)したのち、常温になったときの長さの最初の長さに対する百分率。はじめの長さよりも長くなれば残存膨張率で表し、短くなれば残存収縮率で表します。

## ■編集後記「あとかんげん」■

■KY。いつか流行りました、そう“空気読めない”のこと。この空気、実に重要だという事に気がつきました。例えば、サッカー。中田英寿、PK戦。失敗！頭に手をやる。しかも大舞台のシドニーオリンピックで。一流選手と言われる人ほど大舞台でPKを外すことが多い。現役時代のジーコも、ラウール、バジジョ、ベッカムだって大舞台で、しかも決勝や準決勝、準々決勝でPKミスをした。それはなぜ？理由は“空気”である。みんな自分の立場に合ったプレッシャーという空気にやられたのである。ヒデだから外さないだろう、とスタジアムのすべてが思っている。本人も外すわけにはいかないと思っている。しかし、その空気にのまれて失敗する。一流選手ほど時にKYは重要だと思う。■話は陶芸に。やきものはその名の通り炎の芸術と言われる。しかし、見方を変えると違って来る。それは空気！考えてみて欲しい。まずは、菊練り。それは空気を抜く作業。真空土練機ばかり。成形したばかりの器。風があたると亀裂が入る。窯もそう。炎や熱で空気を熱くして焼くのだ。ガス窯や電気窯を想像してほしい。炎やヒーターから出た熱が空気を熱くして器物に伝わる。酸化や還元も同じ。窯の中の空気、酸素が多いか又は無いのかで色が変わる。炎自体も空気なしでは燃えない。煙突だって窯に空気を取り入れるためのもの。ガス窯を作っている断熱レンガの特徴は、空気をつぶ、気泡だ。そう考えると“やきもの”、空気を読むことが大事。

【おわび】「月刊・窯ナビ」をご愛読いただきましてありがとうございます。このニュースレターは毎月発行することを目標にまいりましたが、諸事情により2010年度から隔月発行といたします。2009年7月号～12月号は休刊といたします。